

1 . 2008 年度の会長決まる

日本機械学会の次期の会長に、横浜国立大学 教授 白鳥正樹（しらとり・まさき）が内定いたしました。

2008 年 4 月 8 日(火)に明治記念館 富士の間で開催される第 85 期通常総会後に就任いたします。(副会長以下の役員は資料 1 の通り)

会 場：明治記念館 富士の間

(東京都港区元赤坂 2-2-23, TEL 03-3403-1171(大代表), JR 信濃町駅徒歩 3 分)

開催日時：2008 年 4 月 8 日(火) 15 時 20 分～17 時 20 分

URL: <http://www.jsme.or.jp/0804080m.htm>



2 . 2007 年度日本機械学会賞決定

2007 年度日本機械学会賞として、日本機械学会賞（技術功績 1 件，論文 16 件，技術 8 件），日本機械学会奨励賞（研究 20 件，技術 17 件），日本機械学会教育賞（5 件）の受賞を決定いたしました。

受賞式は上記通常総会にて開催されます。なお、日本機械学会奨励賞は 35 歳以下の若手技術者を対象に設けられた賞となっております。(資料 2)

会 場：上記同一会場（明治記念館 富士の間）

開催日時：2008 年 4 月 8 日(火) 15 時 20 分～17 時 20 分

3 . 総会特別企画「機械技術者，技能者の伝承と人材育成について考える」

日本のモノづくりを支えてきた技術者，技能者の大量退職が進み始めた中，「若手技術者の育成」や「技能伝承」が，日本の国際競争力を高めていく上で，ますます重要な課題になりつつあります。

こうした状況を踏まえ，この特別企画では，モノづくりの中核を支える機械系の技術者と技能者に焦点を当て，産官学の様々な角度から，育成，伝承における取組みについてご講演頂きたいと思っております。

産官学各々が果たすべき役割や連携のあり方について振り返り，今後の進め方を考える機会にしていただければ幸いです。たくさんの方の参加をお待ちいたします。

会 場：上記同一会場（明治記念館 富士の間）

開催日時：2008 年 4 月 8 日(火) 10 時～15 時

講演者（講演順）

10.00～10.30 『学会を起点にした人材育成のあり方』

(社)日本機械学会 能力開発促進機構 機構長 田口 裕也 氏

10.30～11.00 『北海道に根を下ろしたモノづくり，技術者育成とグローバル化への挑戦』

(株)ダイナックス 常務取締役 開発本部長 渋谷 隆夫 氏

11.00～11.30 『三菱重工における技術者教育』

三菱重工業(株)技術本部 副本部長 兼 広島研究所長 児玉 敏雄 氏

11.30～12.00 『オープンイノベーションを指向する産学官連携 - 日立的取り組み - 』

(株)日立製作所 研究開発本部 主管技師長 兼 研究戦略統括セクタ研究アドバイソ室長 増位 庄一 氏

12.00～12.30 『デンソーにおけるグローバル化に応える製造人材の育成』

(株)デンソー技研センター 代表取締役社長 萩野 幸一 氏

13.20～14.00 『産学連携による人材育成』

経済産業省 大学連携推進課長 吉澤 雅隆 氏

14.00～14.30 『新世紀に求められる工学系人材の育成に向けて』

2008.3.26

東京大学大学院工学研究科 教授 笠木 伸英 氏

14.30～15.00 『レクチャー・ラボ統合型授業による系統的・効率的カリキュラム』

東京工業大学 機械知能システム学科 教授 岩附 信行 氏

入場料：無料

(参加人数確認のため、総務グループ宛 FAX 03-5360-3508 か、E-mail general@jsme.or.jp でお申込み下さい。)

詳細はホームページをご参照下さい。

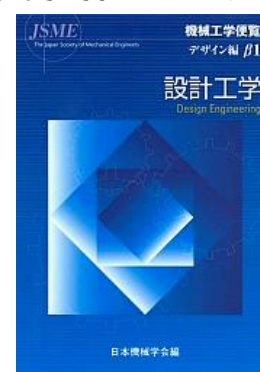
URL: <http://www.jsme.or.jp/0804080m.htm>

4. 機械工学便覧 全面改訂について - 既に27分冊と 総合本が刊行 -

機械工学便覧 (JSME Mechanical Engineers' Handbook) は、1934年に初版刊行以来、今日まで実に約3/4世紀、その間、計7回の改訂によって質、量ともに時代に応じた充実をはかりつつ、わが国の機械工学/工業の発展に対して大きな寄与を果たして来たという栄光ある歴史を持っています。

新版(1987年にA,B編,1989年にC編)を発行してから20年以上が経過して、この間の科学技術の急速な進展と社会情勢の変化、機械工学の担当分野の拡大に鑑み、また会員よりも便覧改訂を希望する声が数多く寄せられたため、今般の全面的な改訂作業に至りました。

今回の新しい機械工学便覧は、基礎編(編),デザイン編(編),応用システム編(編)の3編より構成するとともに、特に機械工学の分野の学際的な拡大に適応するために、6編を新設した他に、他編でも内容/区分については全面的に見直しを行いました。また、基礎編は技術者/学部教育の基礎段階に、デザイン編の多くは専門技術教育に、さらに、応用システム編は工学/技術の実務面での自己革新に役立つことも意図しています。座右の書としてご利用下さい。



URL: <http://www.jsme.or.jp/kanb001.htm>

プレスリリース担当

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地
信濃町煉瓦館5階

社団法人 日本機械学会
学会運営部門 会員・情報管理グループ
広報担当 野口 明生
TEL: 03-5360-3503, FAX: 03-5360-3508
E-mail: noguchi@jsme.or.jp